



第389号

2019年4月

〒461-0004 名古屋市東区葵2丁目6-35 カトリック名古屋教区広報委員会 「教区ニュース」編集部 電話 (052) 935-2223 FAX (052) 935-2254 印刷所 株式会社 荒川印刷 毎月第1日曜日発行

聖香油ミサのご案内 日時 4月17日(水) 10時30分 場所 カトリック布池教会大聖堂 主司式 ミカエル松浦信郎司教 主催 カトリック名古屋教区

過越しの聖なる3日間 4月18日(木) 聖木曜日(主の晩餐) 4月19日(金) 聖金曜日(主の受難) 大斎・小斎 4月20日(土) 聖土曜日(復活の徹夜祭) 4月21日(日) 復活の主日

教区ホームページ 福音のひびき 4月の説教者 7日 四旬節第5主日 フレデリック・フリッツ・ボンパン (岐阜教会) 14日 受難の主日 太田 実 (名古屋教区) 21日 復活の主日 野村 純一 (名東教会) 28日 復活節第2主日 ヨン・アドリアヌス・レインゲル (多治見教会)

膳棚教会で ワールドユースデー パナマ大会報告会

「わたしは主のはしためです。 お言葉通り、この身になりますように」

WYDパナマ大会に名古屋教区から参加した青年たちの報告会が2月17日、膳棚教会で行われた。初めに引率スタッフとして同行した教区青年委員会担当の片岡義博神父が、参加した青年たちの様子を語った。「青年たちの参加の動機は様々。自分の道を探し求めた



報告者たちと片岡義博神父(左端)。寺尾總一郎神父(右端)。

びかけを感じとり、自分に与えられた使命に派遣されることを願っている。また片岡神父は、フランシスコ教皇のメッセージ「大人たちは若者の声を聞くように。未来にはではなく今、若者たちが必要なのです。そうであれば教会には将来はありませぬ」を紹介しながら、大人たちは、若者たちが主の呼びかけに喜んで「ハイ」と答えて歩んで行けるように祈って下さいと語った。

続いて参加者の一人であるこの日の司会を務めた大橋左季さん(膳棚教会)が、世界175カ国から70万人(日本からは54人)の青年たちが参加したパナマ大会の様々な場面、生き生きとした様子を、映像を見ながら解説した。最後に大会参加者から一言ずつ語ってもらった。

*曾根 優希 (旭川大町教会) テーマのマリア様の言葉に引張られ参加した

が、いろいろな場面、人々との関わりを通して神様の愛を実感することがたくさんあった。それに応えられるように、私も周りの人々に愛を伝えるようになりたい。そう思ったことが、テーマの言葉にリンクすることに気がついた。

*永栄 恵太 (富山教会) WYDで特に2つの大きなことを得た。一つはテーマのマリア様の言葉のように、自分も勇気を持って一歩踏み出した。もう一つは、司教様が「十字架の道行は人生の鏡」と言われたことがとても心に残っている。倒れたイエス様が再び歩き出す姿を、これからの人生において思い出しながら歩みたい。

*新井 英介 (魚津教会) 現地の人々のお祭りに参加し、いくら大騒ぎをしても終わる時には必ずお祈りして帰って行く様子に、生活の中に信仰があると感動した。日本ではカトリック信者であることを表明するの躊躇することがあったが、この環境の中で信者である自分と向き合えることが出来た。

この報告会には都合で来られなかった大会参加者もいるが、参加者6人全員にそれぞれ体験レポートを提出してもらっている。是非、全文を皆さんに読んでいただきけるように、2回に分けて紹介します。2面を参照下さい。

Share the Journey (ともに旅しよう)

「排除 ZERO キャンペーン」 一教区リレー写真展

全世界のカリタスは「Share the Journey(ともに旅しよう)」と題した移住者・難民に関するグローバルキャンペーンを実施しています。このキャンペーンは2017年9月27日の教皇一般謁見演説での呼びかけからスタートし、2019年9月までの2年間にわたり展開しています。誰一人として排除されたり、存在を無視されたりしてもよい人はいないという趣旨のもと、日本では「排除ZEROキャンペーン」(国籍をこえて人びとが出会うために)として日本カトリック難民移住移動者委員会とカリタスジャパンの共同で展開しています。キャンペーンを通して、外国人移住者と、互いに対話する出会いの場を増やすことや、置かれている状況、背景を知り、理解を深め、行動していくことをめざしています。



世界青年の日

受難の主日

1984年「あがないの特別聖年」に、聖ヨハネ・パウロ二世教皇は、聖ペトロ大聖堂に大十字架(3.8m)を設置しました。そして国連が定めた国際青年年の1985年、受難の主日に、青年たちはこの十字架とともに教皇のもとに集まりました。教皇はこの年、受難の主日を毎年「世界青年の日」として祝うように定め、2~3年に一度は、世界中の青年が教皇と出会うワールドユースデー(WYD)が開かれるようになりました。2019年には中米パナマで開催されました。

WYD参加者の体験レポート

ワールドユースデー パナマ大会

名古屋教区参加者による体験レポート①

ワールドユースデー(WYD)が、1月にパナマでおこなわれました。世界175を超える国と地域から70万人の青年が集まった今回の大会に、日本からは公式巡礼団として54人が参加。うち名古屋教区からは6人の青年と片岡神父が同伴しました。

今回は、名古屋教区から参加した6名の青年たちのレポートをまとめましたのでご紹介いたします。(紙面の関係で2回に分けて掲載します)

日本巡礼団の行程

- 1月16日 羽田空港出発(トロント経由にてパナマへ)
- 1月17日 パナマシティから280km離れたチトレ教区へ
- 1月18日-20日 チトレ教区でのプログラム
- (エコロジー活動・体験、教区野外ミサ・パレード、ホームステイ家族との交流など)
- 1月21日 移動日(チトレからパナマシティへ)
- 1月22日-27日 本大会
- (各国ごとのカテケージス・分かち合い、教皇歓迎式典、十字架の道行き、徹夜祭(夕べの祈り)、教皇派遣ミサなど)
- 1月28日 振り返り
- 1月29日 パナマ出発(トロント経由にて日本へ)
- 1月31日 羽田空港到着



日本巡礼団団結式



名古屋教区の参加者



ホストファミリーと永栄さんと新井さん

『信仰を守るとは』 新井英介(魚津教会)

私は今回、日本巡礼団の中で最年少(18歳)の1人として、はじめてWYDに参加させて頂きました。世界中のカトリック信者が1つの場所に集まる環境で過ごした2週間、自分自身のカトリック信者としての信仰を考えたこともありませんでした。私は幼児洗礼のため、物心ついた時からカトリック信者として生活してきました。そのため私の人生でカトリック信者であることは当たり前で、それが日常でした。しかし、一方で友人や周りの人たちがカトリック信者でない環境で、私は少し肩身の狭さを感じていました。そうした中で参加した今回のWYDは、周りの人々が全てカトリック信者である事がとても新鮮で初めて自分がカトリック信者である事を躊躇する事がなくなりました。そして、私は1つの疑問が浮かびました。それは「自分は周り比べてどれほどの信仰を持っているのだろうか」という疑問でした。

た。なぜなら、他の国の青年たちや現地の方々には聖体拝領の時に膝をついたり、教会に出入りするたびに膝をついてお辞儀をするのを見たからです。私はこれまでそのようなことをしてきませんでした。そして、私は自分の信仰は他の人と比べて薄いのではないかと考え、始めの1週間はそれをずっと考えていました。しかし、本大会が始まってから日本巡礼団の中で分かち合いをしている時に、ある仲間が話してくれたことを聞き、自分の中に答えが生まれました。その話はホームステイ先の方が日本のカトリック信者の人数を聞いて、「数少ないカトリック信者の中でどのようにして信仰を守ってきたのですか?」とたずねられたという事でした。私は信仰を守るということを今まで全く考えた事もなかったため、自分でもどのようにして信仰を守っているのかわかりませんでした。しかし、私は何故そのようなことを聞いたのだろうと考えました。その結果、その人は周りの人の多くがカトリック信者である環境で育ってきたため、カトリック信者が少数派である環境のカトリック信者はどのようになっているのか気になったのではないかという結論に達しました。



チトレ教区のホストファミリーと集合写真

『パナマが世界をつなぐ場所』 今井萌生(鯖江教会)

私は今回、WYDに申し込みましたものの、馴染みのない中米という場所での開催、日本での準備会で過去の大会の話などを聞きながら、野宿の雨の話や、寝る場所の確保、食について、プログラムや宿泊スタイルが日本巡礼団の事務局でも未定なことが多く、様々な点で不安を感じていました。しかし、今回の大会のテーマである「私は主のはしためです。お言葉どおり、この身に成りますように。」(ルカー1:38)のように、主に身を任せれば導いてくれると

信じて参加しました。パナマでは最初の4日間は、パナマシティから300キロほど離れたチトレという町でホームステイをしながら「教区での日々」を過ごしました。言語の通じないホームステイで、はじめは大きな戸惑いもありましたが、ホストファミリーがとても温かく受け入れてくださり、本当の家族のように接してくださったおかげで、パナマシティへ出発する日にとってもチトレを出るのが名残惜しい気持ちになっていました。

土曜日は会場まで15キロほど巡礼し、パパ様とともに晩の祈りを捧げ、会場まで野宿をし、一夜を明かしました。ステージ(祭壇)までは、直接肉眼で見るとは難しい場所でもありましたが、ブラジルの青年が来てともに



パナマシティ海岸をバックに

信仰をつむぎ、信仰をつなぐ

名古屋教区公式巡礼

山口・津和野・萩巡礼
乙女峠まつり参列の旅3日間

浦上四番崩れで津和野に流され迫害を受け殉教した方々を記念し、津和野教会から乙女峠マリア聖堂まで聖母行列と野外ミサが行われます。ご参加ください。
旅行期間 5月2日(木)～5月4日(土・祝) 3日間
旅行料金 98,900円(お一人6歳以上)
旅行代金は大人・子供同額
宿泊 1泊目「かめ福」、2泊目「萩本陣」
1泊目、2泊目ともに4名1部屋
交通 5/2 名古屋駅(9:00頃出発)
東海道・山陽新幹線=新山口駅～バス
5/4 名古屋駅(19:00頃着)
観光見学 山口ザビエル記念聖堂、カトリック津和野教会、乙女峠マリア聖堂(各聖堂でミサ予定)。武家屋敷、松陰神社・松下塾の見学ほか。
同行者 松浦悟郎司教、浅井太郎神父、カトリック信者の添乗員
予約・問合せ 阪急交通社
担当は大月、柳田、君島さん
☎03-6632-7275 Fax 03-6745-7371
メール junrei-tyo@hei.hankyu.co.jp
コース番号 V4623
企画協力 カトリック名古屋教区

新刊書のご案内

教皇フランシスコ

(ペトロ文庫)

ミサ・洗礼・堅信—教皇講話集

編訳者 カトリック中央協議会事務局
定価 本体700円+税8%
「ミサ」「洗礼」「堅信」をテーマに、2017年から2018年にかけて行われた三つの連続講話を取録。キリスト者の生の根源であり、秘跡と典礼についての、親しみやすく心温まる解説です。
問合せ カトリック中央協議会・出版部
東京都江東区潮見2-10-10
☎03-5632-4429

2019年度 聖霊病院

ボランティア講座のご案内

下記のように聖霊病院ボランティア基礎講座と聖霊病院ホスピスボランティア講座を開催いたします。ボランティア活動に関心のある方は、この機会にぜひご参加ください。

第28回 聖霊病院ボランティア基礎講座

期日 4月22日(月)・23日(火) 開催
対象者 1、これから当院でボランティア活動を希望される方
2、当院でボランティア活動をしている方でまだ受講されていない方
3、当院のホスピスボランティア講座受講を希望される方
定員 20名(定員に達し、ご参加いただけない場合のみご連絡させていただきます)

第15期 聖霊病院ホスピスボランティア講座

期日 5月28日(火) から開催
定員 16名(定員になり次第締め切ります)
場所 聖霊病院二号楼アーノルド館4階 第1・2会議室
曜日 毎週火曜日 13:30～16:00
講義 20時間
聖霊病院においてボランティア体験:1年間60時間以上
なお、ホスピスボランティア講座に参加される方はボランティア基礎講座を受講していることが条件です。両講座とも詳細は、下記まで問合せ下さい。
問合せ 聖霊病院カトリック社会事業室
ボランティアコーディネーター 矢沢
名古屋市昭和区川名山町56 ☎052-832-1181

テゼの祈りを捧げたり、少人数で朝まで色々なことを分かち合えたことが一番の思い出になっています。
日曜日の派遣ミサは、日本のミサとの違いを感じつつ、何十万人というたくさんさんの青年と共にひとつのミサにあずかれる喜びを受けることができました。
パナマの方々はとても社交的で、日本人だけではなく世界中の人と好意的に接して下さったおかげで、たくさんさんの国の人との交流を通して、同じ信仰を持つ若者がこんなにたくさんいることを心から実感することができました。パナマ運河のようにパナマが世界をつなぐ場所になったと思います。

「神様のはからいのうちに」
大橋 左季(膳棚教会)
素晴らしいお恵みとたくさんさんの感動を得たWYDは、とてもこの文章だけではお伝えしきれませんし、どうしても現地に行かなければ感じ取れないものばかりでもありません。
その中で、特に、今回WYDを通して、私はテーマでもある「私は主のはしため おことばどおり、この身になりますように」について、神様のお言葉に「はい」と答え続けたマリアについて考えました。
WYDのテーマソングのサビの部分で、スペイン語の原語で歌う際は、つい歌詞の意味を考えると、それが薄れてしまいがちですが、世界中の若者は、「私は主のはしため、みことば通りになりますように」というマリアの言葉を、本当に心から楽しんで、天に向かって声をそろえて歌っていました。それがどれだけ素敵で、

それだけ素晴らしいかというのを、文章だけでは伝えられないのが惜しいのですが、あの楽しくて情熱的な旋律に、実は神様の祈りとマリアの御言葉がのせられていて、ゴスペル以上に神様との対話を感じる音楽で国が溢れてるといふ景色が、日本では考えられず、本当にありがたく、幸せなお恵みで満ち満ちているなと感銘を受けました。
実際、日常生活の中で、私が自分の想いと反する出来事が起こったと



パパ様を間近に

き、マリアのよいうに「私は主のはしためです。おことばどおり、この身になりますように」とは、さっと思いつく言葉ではありません。しかし、今後の人生の谷において、神様に向かって心から歌う、世界中の若者を思い出しながら、あのテーマソングのサビを歌えば、少しは神様に委ねることができるとは思いません。現に心の中でテーマソングを歌うと、どういふわけか自然と笑顔になります。これまでツラく、苦しかった経験も、神様のはからいのうちだと思えるようになります。わたしたち人間のちっぽけな範疇では計り知れない何か大きなものが用意されていて、どんな感情が生まれてこようとも、その時々でしか学び、吸収できないもの

というものが隠されているのかなと、思えるようになります。
もちろん、神様はなぜこんなことをしたのだろうと、意味を問いたくない、解決していかないような出来事が今もありません。同伴して下さった神父様が、「私たちはイヤな時でも『はい』と言わなきゃいけないことがあるんです」とおっしゃいましたが、何かイヤなことがあったら、御言葉だけを唱えるのではなく、テーマソングを神様に向けて歌ってみると、本当に目の前のこと全てがお恵みに見え、音楽の力は本当に偉大だと感じます。
これから自分の感情から逃げずに向き合い、「お言葉通りになりますように」といつも響かせながら、イエス様、マリア様と、恐れなくて対話していくことを、身につけていけるようなお恵みをいただいたように思っています。
体験レポート②は来月号に掲載します。

今世紀にキリシタン史を学び直す

「2019年キリシタン史勉強会」

会場案内
名古屋会場 カトリック主税町記念聖堂
金沢会場 カトリック金沢教会
勉強会の日時と講師
第5回 名古屋 5月11日(土) 13:00
金沢 5月19日(日) 10:00ミサ後
「井上秀斉と主税町教会」栗木英次さん(小牧教会)
連絡 申し込み不要、参加費無料(席上献金あり)
参加ご希望の方は当日会場にお出かけ下さい。なお、講師の都合により、講題は変更になる場合があります。
主催 カトリック名古屋教区殉教者顕彰委員会
☎052-936-8366

原典に忠実な生き生きとしたイエスの姿が学べる

本多哲郎神父による聖書の勉強会

テキスト:マルコによる福音書

2回シリーズ 5月13日(月) 13:00～16:00
10月14日(月・祝) 13:00～16:00

場所 名古屋友の会2階ホール(カトリック南山教会西側)

持ち物 聖書、筆記用具

本多神父が原典のギリシア語から直接日本語に翻訳された聖書を使って、本来の生き生きとしたイエスの姿を学びます。

会費 各回300円(当日会場で集めます)
申込み いちじくの会 ☎090-1726-5627まで。

新刊書のご案内

救いと希望の道—十字架の道行—

著者:ティモシー・ラドクリフ O.P.
[サンパウロ] 1,296円(税込)



死の宣告を受け、鞭で打たれ、十字架を担われ、釘で打ち抜かれ、殺され、墓に葬られるイエス・キリスト。そのキリストの「十字架の道行」に対する黙想と、著者自身が語る体験を通して人びとを深い祈りへと導く。本書には人生の指針となる言葉が随所にちりばめられている。

映画「アイ・アム・ロヒンギャ」上映会

“知ってください、私たちのこと、私たちが経験した悲劇を”

日時 4月27日(土) 13:00開場
場所 名古屋大学環境総合館1階レクチャーホール(地下鉄名城線「名古屋大学」下車2番出口)

プログラム
13:30 映画上映
15:50 講演 「バングラデシュのロヒンギャ難民キャンプ」
講演者 杉江あい(名古屋大学高等研究院)

16:40 終了
参加費 無料
問合せ 名古屋大学大学院環境学研究科地理学講座 agnes2aisha@gmail.com
後援 UNHCR 駐日事務所、国連 UNHCR 協会

—福音化の歩みのために—



4月 教区行事予定 (* 松浦司教)

7日(日) 五反城教会黙想会* / 女子修道会・在俗会連盟総会*

9日(火) 樹の会

11日(木) 教区顧問会

13日(土) 信徒協役員会

14日(日) 教区中高生会

16日(火) カトリック看護協会例会

17日(水) 司祭・助祭の集い / 聖香油ミサ*

21日(日) 守山教会ミサ* / 愛岐B会議

24日(水) カリタス福祉委員会

27日(土) レジオ名古屋クリア

5月の主な教会暦(主日・祭日など)

4日(日) 復活節第3主日

5日(月) 復活節第4主日

12日(日) 復活節第5主日

19日(日) 復活節第6主日

26日(日) 世界広報の日(献金)

29日(月) おとめ教会博士

29日(月) 聖カタリナ(シエナ)

28日(日) 復活節第2主日

21日(日) 復活の主日(祭)

20日(土) 聖土曜日

19日(金) 聖金曜日(主の受難(天斎・小斎) 聖地のための献金)

18日(木) 聖木曜日(主の晩さん)

17日(水) 聖香油ミサ

7日(日) 四旬節第5主日

14日(日) 受難の主日(枝の主日)

14日(日) 世界青年の日

9日(祭) 祭日(祝) 祝日(記) 記念日

4月 教区行事以外の松浦司教予定

27日(月) 教区顧問会*

31日(金) 教区法人評議員会*

3日(水) カトリック神学院開校式(東京)

4日(木) 常任司教委員会、日本難民移住移動者委員会

8日(月) 大阪教会管区青年担当委員会

8日(水) 難民移住移動者委員会

5月

28日(日) 殉教者祭(金沢・卯辰山)*

29日(月) 殉教者顕彰委員会 浦上キリシタン流配者のためのミサ

2日(木) 名古屋教区公式巡礼・津和野*

8日(水) 難民移住移動者委員会

11日(土) 宣司評運管委員会* / 信徒協役員会 / 共助連絡会 / 殉教者顕彰委員会・キリシタン史勉強会(主税町)

12日(日) 城東B会議 / 三河B会議

14日(火) 樹の会

16日(木) 月集*

18日(土) 正義と平和学習会 / 樹の会

19日(日) 総会 / レジオ名古屋クリア

19日(日) 城北B会議 / 北陸B会議 / インターナショナルミサ・こどもの集い* / 一粒会委員総会

21日(火) 日本カトリック女性連盟名古屋総会*

25日(土) 典礼委員会

26日(日) 富山教会堅信式* / 北陸ブロック会議* / 愛岐B兄弟の集い / 教区中高生会

「青年のための聖書の学び」
4月21日(日)

テーマ: マルコ1章
「天が裂けて「霊」が鳩のように…」

対象 青年男女(18~32歳)

時間 午後2:00~7:50 (高校生4:30まで)

1:30~玄関を開けます

2:00~聖書「学び」

3:00~「個人の祈り」

3:30~御言葉で感じたことのかち合い

4:00~4:30 おやつ

4:30~5:30 教会に来て思うこと(分かち合い)

共同体と共に祈りと食事をする

(5:45~ご聖体顕示、晩の祈り、夕食)

食費: 自由献金

7:45~糾明 サルヴェ・レジナ 終了

FB 「青年のための聖書の学び」

HP <http://www.concepcionistas.jp/>

*基本的に毎月第3日曜日が「聖書の学び」の日です。

連絡先 ☎052-782-5850

名古屋市千種区園山町1-56

聖マリアの無原罪教育宣教師修道会

担当者 シスター碓(いかり) 政子

浦上キリシタン
流配者のためのミサ

日時 4月29日(月・祝)
14:00~

会場 主税町記念聖堂
名古屋市東区主税町3-33

司式 浅井太郎神父

主催 名古屋教区顕彰委員会

告知板

9日(木) 常任司教委員会

21日(火) 22日(水) 日カ連全国総会

28日(火) 南山学園評議員会

福信館便り ☎052(935)7180

◇4月の炊き出し 木 4日(東山)
11日(布池)、18日(聖霊・南山)、25日(城北) 金 5日(喜望峯の会)、12日(長浦)
19日(布池)、26日(南山)

第9回 『あとから来る者のために』 原発勉強会

どなたでも、気軽にご参加ください。一緒に原発について考えましょう。

日時 4月13日(土) 13:30~15:00

場所 カトリック布池教会 信徒会館3F
名古屋市東区葵1丁目12-23

参加費 200円

主催 次世代を考える会

問合せ 三本木國喜 ☎0561-83-5360

592件 29,023,675円
目標額 40,000,000円 (2月末)

建設費の返済に協力を

達成率 約71.8%

郵便振替 00810-5-50605
加入者名 カトリック名古屋教区
通信欄に「福信館建設」と必ずご記入ください。

日本カトリック女性団体連盟
第45回名古屋総会
記念講演と派遣ミサ

「証し人」になろう!
~キリストの愛を届けるために~

日時 5月22日(水)
受付 8:30~
講演 9:30~10:45
ミサ 11:00~12:30

場所 カトリック布池教会大聖堂

講師 ミカエル松浦悟郎司教

どなたでもご参加いただけます。

主催 日本カトリック女性団体連盟
実行委員会 名古屋教区カトリック女性の会(樹の会)

連絡先 樹の会事務局 平尾 ☎090-5107-0644

女子パウロ会 名古屋修道院での集い

「ロザリオの祈り」

4月はお休みです。
5月12日(日)、6月9日(日) 14:00から始めます。

場所・問合せ
聖パウロ女子修道会(聖パウロ書院)
名古屋市東区葵1-13-2 ☎052-936-4443

名古屋教区殉教者祭 金沢・卯辰山

日時 4月28日(日) 13:30~

場所 金沢・卯辰山

主司式 ミカエル松浦悟郎司教

連絡 ・今年名古屋からの巡礼バスはありません。各自で殉教者ミサにご参列ください。
・雨天の場合は金沢教会で殉教者ミサが行われます。

聖地のための献金 聖金曜日

全世界の教会からローマ教皇庁に集められる献金は、現在、イスラエル、ヨルダン、キプロス、パレスチナ自治区内にある数多くの巡礼所や聖堂などの維持管理に充てられるほか、聖地の貧しい兄弟のための福祉施設や教育施設の運営、奨学金や生活保護などのために使われています。

主にささげる24時間~聖体礼拝

主税町記念聖堂では月に2回、聖体礼拝が行われています。開始時と終了時にミサが行われます。どうぞご参列ください。

日時 毎月第2・第4木曜日
木曜日19:00~金曜日19:00

場所 主税町記念聖堂 名古屋市東区主税町3-33

主催 カトリック名古屋教区

問合せ 名古屋教区本部事務局 ☎052-935-2223

責任者 平田政信神父 携帯電話090-1623-1170

東日本大震災・災害支援金の報告と募金のお願い

発災時より、名古屋教区カリタス福祉委員会(旧・社会福祉委員会)へ振込まれました支援金を下記の通りご報告いたします。温かいご支援に心より感謝いたします!!

東日本大震災被災者支援募金募金 (振込手数料引去後の金額)

摘要	単月明細	
	2/1~2/28	2011.3.17 発災から 2019.2.28までの合計
募金、ご寄付 収入合計	43,670	30,133,356
ベース他支援 支出合計	0	29,645,727
	支援金残高合計	487,629

※上記2月度に支援金のご協力いただいた小教区・個人(敬称略)
金沢教会、岡崎教会 吉村淳子

☆インドネシア地震災害支援金をご協力いただいた修道院、小教区、個人(敬称略)

(2/1~2/28込分) 1件 20,000円(振込手数料引去後の金額)
(10/3~2/28 合計 42件 2,003,965円)

(小教区) 多治見教会

☆2019年4月の復活祭まで募金を集め、聖心布教会を通して被災地へ送金させていただきます。暖かいご支援をよろしくご依頼致します。

★支援金振込先
口座番号 00820-5-137456
名義 カトリック名古屋教区カリタス福祉委員会
「東日本大震災・災害支援金」
「インドネシア地震災害支援金」など
募金の意向先を記入願います。

※振替口座番号、名義が変更となりました。ご注意ください。

ご連絡・問合せ先
カリタス福祉委員会
電話 052-852-1426
FAX 052-852-1422